

第22回特別展

—大広間・松の廊下から大奥まで—

江戸城障壁画の下絵

東京国立博物館には、江戸城障壁画の下絵264巻が保管されており、調査研究の結果、これらは幕末の江戸城再建にあたって障壁画制作を命じられた狩野晴川院らが描いたものとわかりました。本展ではそれらの下絵を中心に、晴川院の記した『公用日記』、建築模型、図面などをあわせて展示し、江戸城障壁画の華麗な世界を再現しました。

会期／昭和63年4月23日（土）～5月29日（日）

会場／特別展示室1

主催／神戸市立博物館、朝日放送、朝日新聞社

協力／東京国立博物館

後援／サンテレビジョン、ラジオ関西

協賛／金露酒造株式会社

開館日数／31日

入館者数／24, 569人

出品件数／55件64点

